



校種・教科別ICT活用事例一覧表 (中学校・国語)

(中学校学習指導要領(H29告示)解説国語編を基に作成)

	1年	2年	3年
話し言葉と書き言葉	p40 ア 音声の働きや仕組みについて、理解を深めること。 調査活動 自分や他人の音声を録音して聞き直す。	p75 イ 話し言葉と書き言葉の特徴について理解すること。 意見整理 プレゼンテーションで表示する書き言葉と読み原稿の話し言葉の特徴を入力し合い、共通点や相違点などについて分類してまとめる。	
漢字	p41 イ (前略)…その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読むこと。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 個に応じた学習 漢字ドリルのアプリケーションソフトを活用し、漢字の読みや書き、筆順について学習する。	p76 ウ 第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むこと。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うこと。	p104 ア 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大半を読むこと。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れること。
語彙	p43 ウ 事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の詩的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 調査活動 辞書のアプリケーションソフトを活用し、様々な語句を取り上げて調べる。	p76 エ 抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。	p104 イ 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用語や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けられることを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。
情報の整理	p47 イ 比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使うこと。 調査活動 インターネットを活用して必要な情報を引用し、出典を示す。	p81 イ 情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使うこと。 意見整理 プレゼンテーションソフトなどを活用して、様々な情報を図や絵、記号などをグループや階層に分けて整理する。	p108 イ 情報の信頼性の確かめ方を理解し使うこと。 調査活動 インターネットを活用して必要な情報を引用し、出典を示す。
言語統制化	p49 ア 音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文や漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しむこと。 表現・制作 自分の音読を録音や録画し、それを組み合わせて作品をつくり、視聴し合う。	p82 ア 作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しむこと。	p109 ア 歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむこと。
言葉の由来	p50 ウ 共通語と方言の果たす役割について理解すること。 調査活動 インターネットを活用し、共通語と様々な地域の方言について調べる。		
書写	p51 エ 書写に関する次の事項を理解し使うこと…(後略) 調査活動 自分の書いた作品を撮影し、手本と比較する。 調査活動 思考を深める学習 入力した文章を様々な書体に変換し、書体によって文章の印象や伝わり方が異なることを調べる。	p84 ウ 書写に関する次の事項を理解し使うこと…(後略)	p112 エ 書写に関する次の事項を理解し使うこと…(後略)
読書	p53 オ 読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つこと。 調査活動 発表や話し合い 気に入ったページを撮影し、表示しながら分かったことを説明する。	p85 エ 本や文章などには、様々な立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすこと。	p113 オ 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解すること。
A 話すこと・聞くこと	情報収集、内容の検討 p54 (1) ア 目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討すること。 表現・制作 発表や話し合い 日常生活の中から話題を集め、プレゼンテーションソフトなどを活用して集めた材料を整理し伝え合う。	p86 (1) ア 目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討すること。	p114 (1) ア 目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討すること。
	表現、共有 p56 (1) ウ 相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること。 表現・制作 自分の考えが伝わるように、必要な資料をプレゼンテーションソフトなどでまとめる。	p88 (1) ウ 資料や機器を用いるなどして、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること。	p116 (1) ウ 場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること。
B 構成の検討	p61 (1) イ 書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えること。 思考を深める学習 入力した文章を読み直し、試行錯誤しながら筋道の通った文章となるように推敲する。	p92 (1) イ 伝えたいことが分かりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫すること。	p121 (1) イ 文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫すること。

B 書くこと	言語活用例	p65 (2) イ 行事の案内や報告の文章を書くなど、伝えるべきことを整理して書く活動。 調査活動 表現・制作	p95 (2) イ 社会生活に必要な手紙や電子メールを書くなど、伝えたいことを相手や媒体を考慮して書く活動。	p124 (2) イ 情報を編集して文章にまとめるなど、伝えたいことを整理して書く活動。
		インターネットを活用して文章や図表などを引用し、プレゼンテーションソフトなどを活用して、レポートやリーフレット、案内状や新聞などにまとめる。		
C 読むこと	構造的な把握、 精査・解釈	p68 (1) イ 場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えること。 表現・制作	p99 (1) ウ 文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈すること。	
		プレゼンテーションソフトを活用して、写真や文章、イラスト、音、アニメーションを用いて、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などを表現する。		
C 読むこと	考えの共有形成	p71 (1) オ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすること。 意見整理	p100 (1) オ 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすること。	p128 (1) エ 文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつこと。
		本や新聞、インターネットに掲載された文章について考えたことを入力し、分類して整理する。		
障害のある生徒への配慮についての事項	p160 自分の立場以外の視点で考えたり他者の感情を理解したりするのが困難な場合には、生徒が身近に感じられる文章（例えば、同年代の主人公の物語など）を取り上げ、文章に表れている心情やその変化等が分かるよう、行動の描写や会話文に含まれている気持ちがよく伝わってくる語句等に気付かせたり、心情の変化を図や矢印などで視覚的に分かるように示してから言葉で表現させたりするなどの配慮をする。 個に応じた学習 電子書籍リーダーのようなアプリケーションソフトなどを活用して、生徒が文章を読みやすしたり、書き込みやすしたりする。			
	p160 比較的長い文章を書くなど、一定量の文字を書くことが困難な場合には、文字を書く負担を軽減するため、手書きだけではなくICT機器を使って文章を書くことができるようにするなどの配慮をする。 個に応じた学習 音声文字入力できるアプリケーションソフトを活用して長い文章を書きやすくする。			
	p160 声を出して発表することに困難がある場合や人前で話すことへの不安を抱えている場合には、紙やホワイトボードに書いたものを提示したりICT機器を活用したりして発表するなど、多様な表現方法が選択できるように工夫し、自分の考えを表すことに対する自信がもてるような配慮をする。 発表や話し合い 生徒が画面上に入力したものを大型提示装置で直接出力して発表させる。 意見整理 生徒が個人で入力した感想や意見を一覧で表示し、多くの考えに触れさせる。			